

敬賀
名古屋
石田学園
周年記念
令和三年
三月
著者 石田 功

雄飛星城

特集

星城大学 学長功績 星城大学学長 赤岡 功
「楽しい×華やか×知的 夢、実現大学」

● 学校法人 名古屋石田学園
〒460-0008 名古屋市中区栄1-14-32
TEL.052-689-6002 FAX.052-689-6003

 星城大学・大学院

 星城高等学校

 星城中学校

 星の城幼稚園

 専門学校星城大学リハビリテーション学院

 名英図書出版協会

 法人本部事務局

学長功績

楽しい×華やか×知的
夢、実現大学

星城大学学長

赤岡 功

赤岡学長は、令和4年3月31日付で、星城大学学長をご退任されます。星城大学学長として在任された8年間、そのご功績をたどります。

★ 瑞宝重光章 受章（教育功労）

赤岡学長は、永きにわたる教育研究に関するご功績が認められ、平成30年秋の叙勲で瑞宝重光章を受章されました。

赤岡学長は京都大学にて、長く経営学の教鞭をとられ、同大副学長在任中には、新キャンパス開設にもご尽力されています。その後、広島県から招聘されて、3つの広島県立大学統合に取り組み、新たに開学した県立広島大学の初代学長に就任されました。

また、平成26年4月からは星城大学学長にご就任、学長として明確なビジョンの下、大学改革にその手腕を遺憾なく発揮されてきました。

この瑞宝重光章受章は、これらの教育に関するご功績が高く評価されたものです。

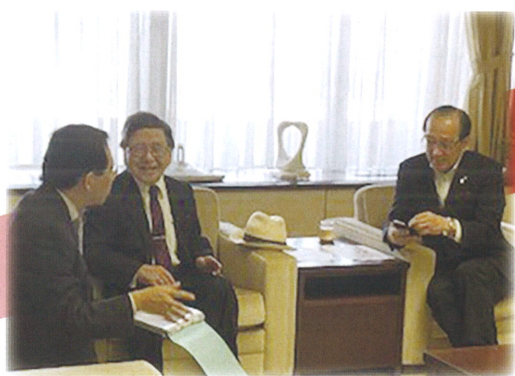


【勲記】



【勲章】

【右 松井広島市長と歓談する
赤岡学長】



★ 広島市より「平和のバラ」寄贈（大学貢献）

平成31年2月、広島市松井市長と面談された際の話から、広島平和記念公園のバラ（「アンネの日記」で知られ、ナチスの強制収容所で15歳の生涯を閉じた少女アンネを偲んで、ベルギーの園芸家が創りあげた可憐なバラ）及び長崎の永井博士宅の庭で被爆し、現在広島市の平和大通りにあるバラの穂木が本学に寄贈されることになりました。

広島市緑政課、秘書課、維持管理課の皆様と本学職員とで剪定作業を実施、無事に初の県外持ち出しが実現しました。

寄贈された「平和のバラ」は、平和の象徴として、石田敏徳先生の銅像の前に植え替えられ、日々元気に成長し、今年も花を咲かせます。

【学内に美しく咲く
永井博士のバラ】



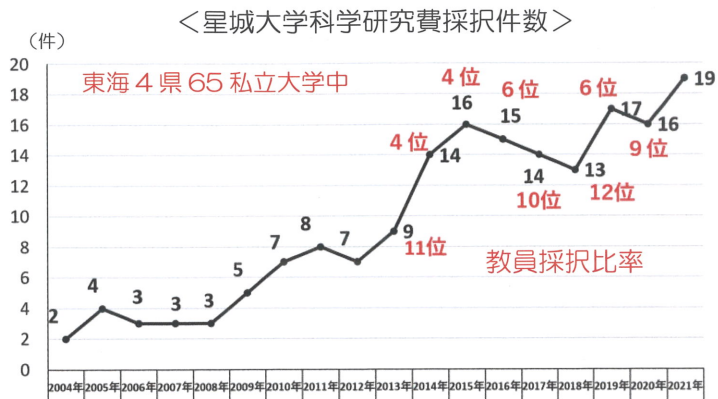
★ 研究力の向上（大学貢献）

大学は、創造的課題解決力（研究力）をもつ人材を養成する機関です。この役割を果たすには、大学教員の高い研究力が必要です。

科学研究費補助金（科研費と略称）の採択状況は、大学の研究力の高さを示すよい指標とされています。赤岡学長は研究力向上にも注力され、ご自身の経験・実績から、そのノウハウで科研費採択のために尽力されてきました。

その結果、東海4県（愛知・静岡・岐阜・三重）全65の私立大学の中で、星城大学の科研費採択教員比率は4位（2015年度最高時）の高さを誇ります。高い研究力を持つ教員による、良い卒論指導のもと、優れた論文も生まれています。

大学の研究力向上が、学生の探求力育成につながり、より魅力ある大学へと成長しています。



★ 「楽しい×華やか×知的 夢、実現大学」 （大学貢献・地域貢献）

本学では、赤岡学長就任時より、「楽しい×華やか×知的 夢、実現大学」をスローガンとしています。

本部東海キャンパスパティオ（中庭）内には、四季折々の花の植栽や、赤・青・白・緑のカーテンパラソルの設置など、学生が談笑できる楽しい空間の提供と、大学周辺の環境美化にも学長自らが尽力されました。

カラフルなパラソルや花々の色彩は、学生達のキャンパスライフに彩りを添えています。

この「楽しい、華やか、知的」キャンパスから、自分の夢を見つけ、夢を実現し、多くの学生が飛び立っていきます。



【本部東海キャンパスパティオ】

★ 地域資源開発の研究と発展 （地域貢献）

赤岡学長は、全国や世界に誇りうる地域固有の自然、文化、産業等々の開発と地域の人づくり、活性化の関係を研究し、実際に活かしていこうと「日本地域資源開発経営学会」を立ち上げられました。

特に星城大学学長に就任されてからは、本学のある東海市の偉人、細井平洲先生の思想やそれを活かしたまちづくり、経済政策などの研究成果を、学会や東海市をはじめとする知多半島の諸団体での講演会の場で、その土地の未来についていくつも提言されてきました。



【熱心に耳を傾ける聴講者】

赤岡学長による講演会

- 平成27年6月 常滑商工会議所講演会
「輝く歴史、未来燦々、世界に開く常滑・知多・愛知」～イノベーション志向が未来を創る～
- 平成28年7月 SAM日本チャプター講演会
「Tylor・上野陽一・Druckerと日本-愛知のモノづくりとイノベーション」
- 平成30年2月 日本地域資源開発経営学会講演会
「細井平洲・上杉鷹山デモクラシー」
- 平成31年2月 瑞宝重光章受勲 報謝公開講演会
「細井平洲師・上杉鷹山公の経済政策は国連国際目標 SDGs の先駆だった」

12月18日(土)、星城高等学校では、名古屋石田学園が令和3年、学園創立80周年を迎えたことを記念して「星城美術館特別展」を開催いたしました。

はじめに、星城懇話会会長で彫刻家の工藤潔先生より、「彫刻に親しむ」というテーマでご講演いただきました。

工藤先生は日展において、平成30年に作品「harmony」で東京都知事賞を、令和3年には作品「duet」で文部科学大臣賞を受賞されました。

お話の中では、今回会場に特別展示された作品「harmony」の解説もしていただきました。

限られた時間の中で映像を織り交ぜながら、彫刻の変遷をたどり、作品の制作過程について分かりやすく教えていただきました。



【会場での工藤先生による作品「harmony」のレクチャー】



【星城懇話会会長 彫刻家・工藤潔先生】

「星城美術館特別展」鑑賞会が始まると、石田記念館1階ロビーでは、工藤先生の作品を中心に鑑賞いただきました。会場での工藤先生による作品レクチャーには、多くの皆さまが集まり、お話に聞き入っていました。



石田記念館1階展示室では、六曲一双の屏風、加山又造による「千羽鶴」の複製などをご覧いただきました。「千羽鶴」の6.5メートルにわたり描かれた屏風に舞う鶴の姿は圧巻です。

石田記念館1階資料室では、学園創立者・石田鑑徳先生ゆかりの品々が展示され、創立者生誕から逝去されるまでの愛用品、教育功労者として受章された「藍綬褒章」をはじめとする偉業と栄誉の軌跡を興味深く鑑賞いただきました。



【加山又造「千羽鶴」(東京国立近代美術館蔵)複製】

本館1階ラウンジ・アトリウムでは、藤森兼明先生、樽本樹邨先生はじめ、杉本健吉、三岸節子など地元ゆかりの先生方の素晴らしい作品をお楽しみいただきました。

【地元ゆかりの巨匠の作品がいくつも並びます】



本館6階には、待井恭子先生の世界が広がりました。学園創立80周年を記念して、新たに寄贈いただいた作品「時の流れに」が初公開されました。また、今回の特別展のために、さらに4点の作品を加えて、待井先生の世界に浸っていただきました。

大盛況に終わった名古屋石田学園創立80周年記念「星城美術館特別展」。星城美術館には、まだまだたくさんの素晴らしい作品が常設展示されています。

名古屋石田学園創立80周年記念「星城美術館特別展」の様子を動画でご覧いただけます。

ぜひ、星城美術館をのぞいてみてください。



【待井先生の世界に引き込まれました】

星城美術館 収蔵作品のご紹介

牛が歩いた足跡「牛歩」を、象形文字(篆書体)をアレンジして象徴的・立体的に表現しました。

鑑賞のポイントとしては、読もうとするのではなく、心で感じ取る鑑賞の仕方をお勧めします。

作品は、技術の披露ではなく、意匠の伝播にあると思っています。「読むことのできない」内外国の方々であっても、意匠を「心で感じ取る」鑑賞をしようということです。そういう意味では、伝統的と謂われる日本の書芸術であっても、現代意匠を汲んだ作品については「グローバル芸術」を目指すべきだと考えています。

つまり、書作品は「読んで意味の把握に努める」鑑賞の仕方もありますが、「読めない」ことに萎縮のではなく、「感じ取る」鑑賞に心掛けてみてはいかがでしょうか。

この作品の意匠は、生徒のみなさんに、牛のように重厚な足跡で、ゆっくりでも着実に前に進んで歩いてほしいというメッセージを込めてあります。

作品は令和4年度4月より、高校の石田記念館にて展示する予定です。

【作品】 学園創立80周年記念「牛歩」
柴田 政寛氏



学校法人 名古屋石田学園 創立80周年記念 寄付者御芳名録

名古屋石田学園80周年記念寄付へのご協力に、厚く御礼申し上げます。ご寄付いただきました方々への感謝の意を込めまして、ここに御芳名を掲載させていただきます。

令和3年11月1日～令和4年1月31日現在

【法人】

株式会社 エヌアイジー 様
平下塗装 株式会社 様
富士電機ITソリューション 株式会社 様

【個人】

浅井 宣亮 様
浅岡 剛 様
梶田 大司 様
近藤 慎一 様
杉浦 一広 様
高橋 功至 様
谷 裕雄 様
難波 喜彦 様
西川 憲治 様
野川 裕史 様
森口 奈美 様
山口 啓太 様

【学園関係】

星城大学リハビリテーション学院 学生会 様
星城大学リハビリテーション学院 後援会 様
星城大学リハビリテーション学院 同窓会 様



名古屋石田学園80周年記念サイト

～引き続き、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。～

- ・五十音順に掲載させていただいております。
- ・お名前の公表を希望されていない方については、掲載しておりません。
- ・上記期間より前にご寄付いただきました方々の御芳名につきましては、前号(61・62号)に掲載しております。
- ・ご寄付いただいた方で、万一お名前がもれている等のお気づきの点がありましたら、誠に恐縮ではございますが、法人本部事務局(052-689-6002)までご連絡願います。



学園アカルト

「台湾大甲高級中学と星城大学の友好協定締結式」

星城大学

2022年1月14日（金）に、「星城大学と台湾大甲高級中学との高大連携に関する協定書」について、台湾大甲高級中学とオンラインにて締結式を行いました。

協定内容として、相互の教育に係る交流・連携を通じて、大学の求める学生像及び教育内容への理解を深め、かつ高校教育と大学教育の活性化を図ることで連携協力いたします。

調印式典では、台湾大甲高級中学の蕭建華校長を始め、学校各部門の責任者、PTA、学生や同窓会会長の方々が出席をされ、厳かな雰囲気の中、式典を行うことができました。



【星城大学】

今後、双方の関係が一層深まり、さらなる国際化に向け、学生や教職員の交流が盛んになることを期待します。

<台湾大甲高級中学>・所在地：台湾（台中市）
1940年（前身は大甲女子高校）に創立され、同窓生・地域支援により、優れた教育理念を継承しています。近年は日本の文部科学省にあたる台湾教育部から「新しい課程のリードスクール」、「教育優良学校」の指定を受け、数々の賞を受賞している高等学校です。
※高級中学とは、中国語の表記であり、後期中等教育機関を意味し、日本の高等学校普通科に相当します。



【台湾大甲高級中学】

令和3年度 卒業記念品「四阿（あずまや）」

星城高等学校

今年度の卒業記念として「四阿（あずまや）」を第57回卒業生の皆さんから、寄贈していただきました。

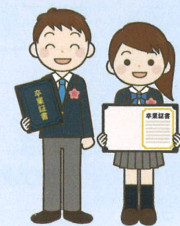
「四阿」というものは、庭園などに眺望、休憩などの目的で設置される簡素な建屋のことをいいます。柱だけで壁面をほとんど持たないか、持っていたとしても簡素な造りをしています。開放的で眺望に優れるため、江戸時代の頃から大名庭園や神苑、池の畔などに休憩所として設営されるようになりました。

風景を楽しむ場所のみならず、建物それ自体が庭園の風景にとけ込み、意匠として風景に雅趣を加えています。現代建築としては、公園や観光地に設置される西洋風の「四阿」（英語で「ガゼボ」という）が馴染み深く、「東屋」とも書いています。

星城高校本館南側にある「南庭園」の中央に設置されました。皆さんのオアシスとして利用してください。



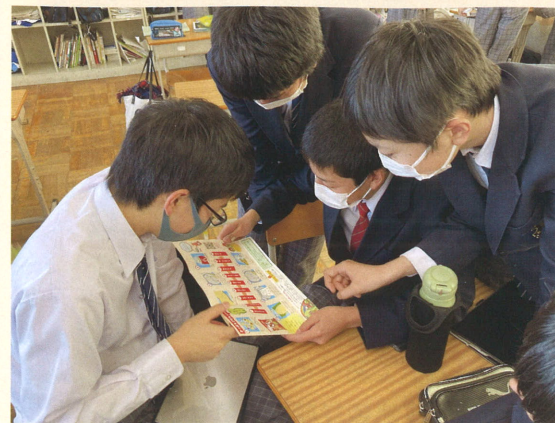
【南庭園にオアシスが完成しました！】



卒業生の皆さん、ありがとうございました。ご卒業おめでとうございます。

校内探究活動

星城中学校



もともと校外での探究活動を予定していましたが、感染症対策のために校内での活動に切り替えました。コロナ禍で探究活動を進めるにはどうすればよいか？生徒たちが出した答えはリモートによる研修でした。

各学年がSDGsに関連した探究テーマに沿った研修先を新たに探しました。2年生は研修先を企業に求めました。最初はぎこちない様子でスタートしましたが、研修が進むに連れて質問や意見交換が活発になっていきました。

【研修前にしっかり企業の下調べ！】



【有意義なリモート研修になりました】

現代社会の問題点やその解決に向けた企業の取り組みについて理解を深めることができました。その後は研修内容をまとめ、研修先へお礼状も書きました。制限された環境の中でも自ら工夫し、しっかり活動できました。

豆まき

星の城幼稚園

『節分』は立春【季節の分かれ目である（立春・立夏・立秋・立冬）】の前日のことだそうです。季節の変わり目は、邪気が入りやすいと考えられていたため、鬼を払う行事が生まれました。

「鬼は外！」と外に向かって、「福は内！」と室内に向かって声を出しながら豆をまいていきます。また、年の数（もしくは1個多く）だけ豆を食べると良いそうです。

恵方巻きも恒例行事となりましたが、今年の恵方は「北北西」の向きだそうです。



【元気いっぱい豆まきました！】



【おにはそと！ふくはうち！】

園庭に鬼が現れました。赤鬼・青鬼・緑鬼・黒鬼です。園児たちは『おにはそと！ふくはうち！』と声を出しながら、豆を鬼にぶつけて災いを追い払いました。コロナに負けず「健康で幸せになりますように！」

客観的臨床能力試験

星城大学リハビリテーション学院



【実習をイメージした検査測定】

2月7日（月）に2年生に対し、客観的臨床能力試験（Objective Structured Clinical Examination）を実施しました。

試験では、臨床現場での症例を想定し、学生は問診、測定、評価等が出来るかどうかを確認され、これまでの学習成果が試されます。また、試験では患者様に対する様々な配慮が必要であり、本学院の教育理念のひとつである人間性の涵養が重要となります。

試験は卒業生協力の上で実施され、試験終了後の学生に対して、医療現場の先輩として、学生が円滑に臨床実習に向かうことができるようフィードバックしていました。

試験を通して学生は、これまでの講義の重要性を再認識し、実技練習の積み重ねの大切さを実感し、多くの成長がみられた1日となりました。



ここでは、学園創立 80 周年を機に原点回帰し、創立者石田鏞徳先生の「思い」を、改めて現代を生きる私たちが考えていく場とさせていただきます。

現理事長石田正城先生は、創立者の教育理念を学園、社会に、さらに世界に向けて具体化するため、これまでも尽力されてきています。シリーズ「建学の精神」第 2 回となる今回は、創立者の「思い」を継承した石田正城理事長に「報謝の至誠」について寄稿していただきました。

「報謝の至誠」

名古屋石田学園理事長・学園長 石田正城

本学園の建学の精神「彼我一体」については、前号でその理念を説明いたしました。

「吾、何によって有り得るか」— 天地自然、人間社会、先祖・父母などの自分を取り巻くあらゆるものの中にある一つの生命、且つ悠久の時の流れの中に生かされた一つの生命、それが「我」であります。

「彼我一体」の中に生きている「我」は、「彼」に感謝し、「我」は全力を捧げて生き抜かなければならない。「彼」とは、自分を取り巻く万物を指しています。

創立者は、この精神の具現化で「お蔭様」から派生した「感謝」を表すことに最も重点を置かれ、「感謝のできる」実践力に富んだ逞しい人間の育成のためにと、第一に「報謝の至誠」を掲げられました。「報謝の至誠」とは、恩に報いて感謝の意を表し、この上ない誠を尽くすことをいいます。

「報謝の至誠」— 創立者は苦学時代に多くの恩師、先哲たちから学び、導かれました。その中で、「至誠にして動かざる者は、未だ之れ有らざるなり—孟子」と「心だに 誠の道に 叶ひなば 祈らずとて 神や守らん—菅原道真」を生活の信条とされるようになりました。

混沌とした世の中だからこそ、今一度、創立者の生き様を心に刻み、一日一日を懸命に生活してみてもうどうでしょうか。それを続けるうちに自分に対する感動、自信、誇りが生まれ、きっと感謝につながる豊かな人生を享受できるようになるはずです。創立者石田鏞徳先生をはじめ、下記に紹介した先哲たちの誰もが、自身の経験を教訓として残されています。

私たちも先ず、人間として感謝と充実した実践から始めましょう。

「報謝の至誠」につながる先哲たちの教え（抜粋）

☆ 汝、父母の恩を感じずんば、汝の親友となる者なかるべし。何となれば父母の恩に感ぜざる者には親切をつくすも無益なるを知らばなり。 — ソクラテス（古代ギリシャの哲学者）

父母の恩を感じないなら、君の友となる者はいないだろう。なぜなら、父母の恩を感じない者には、いくら親切にしても無駄と分かっているからである。

☆ いかにして人は己を知ることを得べきか。省察を以てしては決して能わざらん。されど行為を以てしては或いは能くせむ。汝の義務を果たさんと試みよ。やがて汝の価値を知らむ。汝の義務とは何ぞ。日の要求なり。 — ゲーテ（ドイツの文豪）

いかにして人は自分自身を知ることができるか。考察によっては決して知り得ないが、行動によってならおそらく知り得よう。君の義務を果たそうと試みよ。何が君の義務であるか。それらは毎日の行動の中、それぞれやり方が丁寧であるか、粗雑であるか、感謝の気持ちが入っているか、うわの空であるかという観点で、やがて自分自身の能力・価値が見えてくるであろう。

☆ 日日是好日 — 禅僧雲門老師

眼を開いてみれば永遠に向かって流れる無常の中の「今」しかありません。そこに頂いた命をかけて、一杯生きることで、毎日が「好日」となるのです。

☆ 青年よ、大志を抱け — クラーク博士

大志とはお金を求めることではない。利己心を求めるものであってはならない。名声という浮ついたものを求める大志であってもいけない。人間として、当然為すべきすべてのものを求める大志を抱きたまえ。



星城懇話会 会員募集中!

星城懇話会では、教育的・文化的な分野を中心に年間通して事業を開催し、様々な事業を通じて、会員の皆様の交流や啓発、地域貢献を行っています。今後も楽しく魅力ある事業を企画してまいります。

〈星城懇話会事務局〉（学校法人名古屋石田学園法人本部内）

〒476-8588 東海市富貴ノ台 2-172 TEL 052-689-6002 FAX 052-689-6003

MAIL konwakai@seijoh-u.ac.jp